

## 【書評】

1. 木村敏 (1973) L. ビンスワンガー (山本巖・宇野昌人・森山公夫訳)『うつ病と躁病』、『精神医学』第15巻第号6、680~681頁(著作集8)。
2. 木村敏 (1977/4/25) 笠原嘉『青年期——精神病理学から』、『中日新聞』。
3. 木村敏 (1980/8/1) J. ガベル (木村洋二訳)『虚偽意識』、『朝日ジャーナル』(著作集8)。
4. 木村敏 (1981) 「1980年読書アンケート (Tatosian: *Phénoménologie des Psychoses*; Pelicier: *La folie*; Derrida: *La voix et le phénomène*)」『みすず』1981年1月号(第246号)、10頁。
5. 木村敏 (1983) 「1982年読書アンケート」『みすず』1983年1月号。
6. 木村敏 (1984/3/26) 菅孝行『身体論——関係を内視する』、『日本読書新聞』。
7. 木村敏 (1985/8/5) 『中井久夫著作集』、『週刊読書人』、5頁(著作集8)。
8. 木村敏 (1985) 土居健郎『表と裏』、『季刊精神療法』第1巻第4号、399~400頁。
9. 木村敏 (1986) 「1985年読書アンケート」『みすず』1986年1月号。
10. 木村敏 (1987/1/17) 上村武男『〈気配〉論』、『図書新聞』第528号。
11. 木村敏 (1988) 土居健郎編『分裂病の精神病理』第16巻、『季刊精神療法』第14巻第3号、97~98頁。
12. 木村敏 (1989) 「1988年読書アンケート (Henry: *Généalogie de la psychanalyse*; 上村忠男『ヴィーコの懐疑』; ブルデュ『実践感覚1』; 上田閑照編『西田幾多郎哲学論集1・2』)」『みすず』1989年1月号(335号)、17頁。
13. 木村敏 (1990) 「1989年読書アンケート (坂部恵『ペルソナの詩学』; 柄谷行人『探究I』; 上野千鶴子『スカートの下劇場』; レヴィナス『全体性と無限』; 合田正人『レヴィナスの思想』)」『みすず』1990年1月号(346号)、30~31頁。
14. 木村敏 (1990) 坂部恵『ペルソナの詩学』、『正論』第3号、223~225頁。
15. 木村敏 (1990) 秋元波留夫・上田敏『精神を病むということ』、『心身医学』第31巻第3号、244頁。
16. 木村敏 (1990) 秋元波留夫・上田敏『精神を病むということ』、『総合リハビリテーション』第19巻第4号、482頁(書評15の再録)。
17. 木村敏 (1990/11/19) 秋元波留夫・上田敏『精神を病むということ』、『医学界新聞』第1921号、7頁(書評15の再録)。
18. 木村敏 (1990) 中井久夫『治療文化論——精神医学的再構築の試み』、『文化会議』第258号、24~26頁。
19. 木村敏 (1991/10/28) 小林敏明『精神病理からみる現代思想』、『図書新聞』第2083号。
20. 木村敏 (1992) 「1991年読書アンケート (Straus: *Vom Sinn der Sinne*; Jacob: *Von der Medizin zur Pathosophie*; 中島梓『コミュニケーション不全症候群』; 中村雄二郎『かたちのオディッセイ』)」『みすず』1992年1月号(377号)、16頁。
21. 木村敏 (1993) 「1992年読書アンケート (中井久夫『記憶の肖像』)」『みすず』1993年

- 1月号(第382号)、22頁。
22. 木村敏(1993/9/12): ミシェル・アンリ(山形頼洋他訳)『精神分析の系譜』。『信濃毎日新聞』
  23. 木村敏(1994)「1993年読書アンケート(オギュスタン・ベルク『都市のコスモロジー』; 岩井克人『貨幣論』; 多田富雄『免疫の意味論』; ミシェル・アンリ『精神分析の系譜』; Thrasybulos G. Georgiades: *Musik und Sprache*)」『みすず』1994年1月号(第394号)、20頁。
  24. 木村敏(1995) 中嶋聡『分裂病の実践知と治療』、『精神医学』第37巻第1号、108頁。
  25. 木村敏(1995)「1994年読書アンケート(Wittgenstein: *Tractatus Logico-Philosophicus*; Haken: *Erfolgsgeschehenisse*; Luhmann: *Soziale Systeme*; 中村雄二郎著作集; 多田道太郎著作集)」『みすず』1995年1月号(第406号)、33頁。
  26. 木村敏(1996)「1995年読書アンケート(高橋哲哉『記憶のエチカ』; 中井久夫訳『若きパルク/魅惑』; 中村雄二郎『悪の哲学ノート』)」『みすず』1996年1月号(第418号)、49~50頁。
  27. 木村敏(1997)「1996年読書アンケート(リクール『他者のような自己自身』; 野家啓一『物語の哲学——柳田国男と歴史の発見』; エディンガー『アーレントとハイデガー』; 永井均『〈子ども〉のための哲学』; テーブル/石井ほか訳『ボヘミアの農夫』)」『みすず』1997年1月号(第430号)、34~35頁。
  28. 木村敏(1998)「1997年読書アンケート(坂部恵『〈ふるまい〉の詩学』『ヨーロッパ精神史入門』; マトゥラーナ/バレーラ『知恵の樹』; マリアン・ドーキンズ『動物たちの心の世界』; Hanses: *Epilepsie als biographische Konstruktion*)」『みすず』1998年1月号(第442号)、14~15頁。
  29. 木村敏(1999)「1998年読書アンケート(Denet: *Consciousness Explained*; 和辻哲郎『風土』; ベルク『風土の日本』; V.v. Weizsäcker: *Pathosophie*; フロイト(渡辺哲夫訳『モーセと一神教』)」『みすず』1999年1月号(第454号)、42頁。
  30. 木村敏(2000)「1999年読書アンケート(『ニールス・ボーア論文集一——因果性と相補性』; ハイゼンベルク『自然科学的世界像』『現代物理学の思想』『部分と全体』; (中井久夫編訳)『エランベルジェ著作集1・2』; 鷺田清一『「聴く」ことの力』; 谷徹『意識の自然』)」『みすず』2000年1月号、10~11頁。
  31. 木村敏(2001)「2000年読書アンケート(斎藤慶典『思考の臨界』『力と他者』; アンリ『身体哲学と現象学』『実質的現象学』; 村瀬雅俊『歴史としての生命』; E. Straus: *Geschehenis und Erlebnis*; ゲオルギアードス『シューベルト』)」『みすず』2001年1月号(第478号)、25~26頁。
  32. 木村敏(2002)「2001年読書アンケート(ジョルジョ・アガンベン『アウシュヴィッツの残りのもの』『人権の彼方に』; ヴアレリー・アフアナシエフ『ドッベルゲンガーの鏡像——音楽と文学の間』)」『みすず』2002年1月号(第490号)、57~58頁。

33. 木村敏 (2003) 「2002 年読書アンケート (金子明友『わぎの継承』; 渡辺哲夫『死と狂気』; ノーレットランダーシュ『ユーザーイリュージョン』; 加國尚志『自然の現象学』)」 『みすず』 2003 年 1・2 月号 (第 502 号)、50~51 頁。
34. 木村敏 (不明) 和歌森太郎他編『日本人の再発見』、『新聞 (不明)』